

当ガイドは、釣行に「必要なもの」から「道具の扱い方とセッティング」、「釣るコツ」を紹介。
一度通して読んで、万全な状態で釣りに出掛けましょう!!

★出掛ける前に必要な小物やルアーを購入

お買い物リスト

☐ ルアー 2～3種

出掛ける場所ごとにヒットルアーがあります。
釣具店の店員さんに相談して2～3種類を用意しましょう。

☐ スナップ付きヨリモドシ

12号前後
を2～3個

ラインとルアーを
つなぐ金具です。

☐ フィールドプライヤー 1つ

ハリ外しにも
使えるハサミ
は必要です。

☐ 偏光サングラス 1つ

水中を見やすく
し、安全面にも
役立つ釣り用サン
グラスも用意しま
しょう。



一般的には、表層を採るのに適している
プラグ系のフローティングミノー
(10cm前後)。中層を採るのに適してい
る crankbait (7cm前後)。ボトム
まで沈むバイブレーション (6～8cm
前後)。実績が高いソフトルアー (2～
3種) を用意すれば万全です。

ソフトルアー使用時に必要

☐ ガン玉セット



重さ5Bくらいまで入ってい
るセットを1つ

かみつばしタイプのおモリ。
各リグに使用します。

☐ オフセットフック



大きさ#1～1/0番を1袋

根掛かりしにくいフック
(ハリ) です。

☐ ジグヘッド



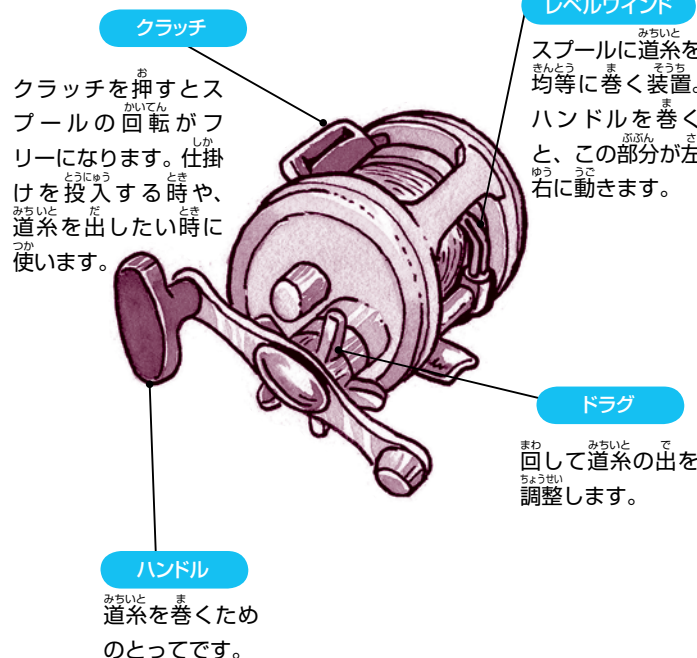
重さ1/2ozまでを2～3個

シンカー(オモリ)とフックが
一体化したものです。

★釣るための準備

【ベイトリールの特徴】

スプール(糸巻き)が回転して糸を巻き取るタイプ。



釣具の特徴と正しいセッティングをマスターして快適な釣りを!

【釣具のセッティング】

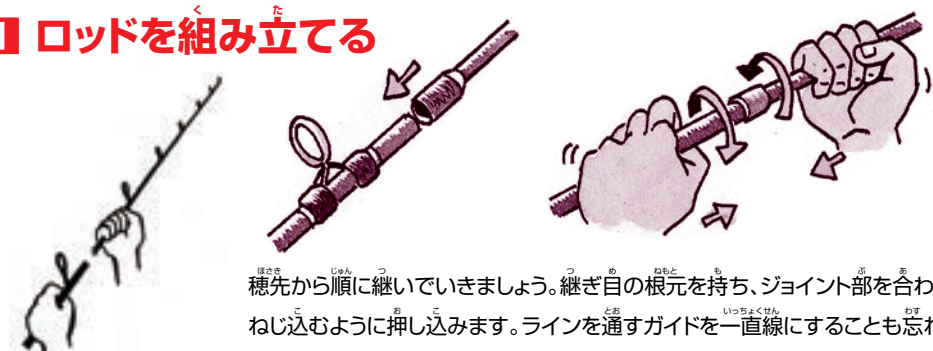
1～3の順でセッしよう

作業は、ロッドをつな
ぎ、ライン(道糸)を
ガイドに通し、ルアー
と結ぶだけです。
※ロッドの穂先(先
端部)はデリケートな
ので、やさしく扱いま
しょうね!

※大型にそなえ、システムラインを組むことも覚えておきましょ
う。詳しくは、ゴールドマニュアルブックのP130～をチェック!

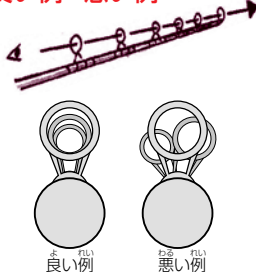


1 ロッドを組み立てる



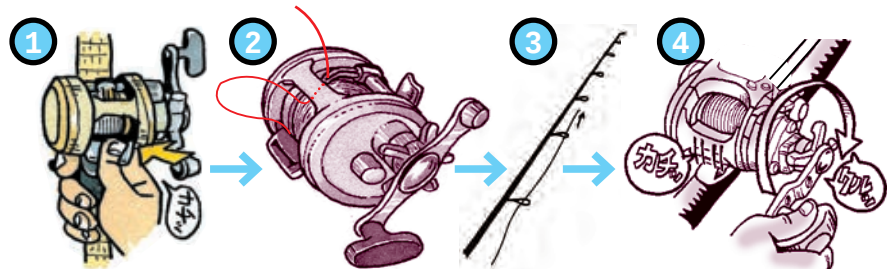
穂先から順に継いでいきましょう。継ぎ目の根元を持ち、ジョイント部を合わせ、軽く
ねじ込むように押し込みます。ラインを通すガイドを一直線にすることも忘れずに!

良い例・悪い例



2 道糸をロッドのガイドに通す

ベイトリールの場合は、①親指をクラッチ
に載せ、下に押し込んでクラッチを切って
道糸をフリーにします。②その後レベルw
インドに道糸を通し、先端のガイドまで通し
きったら、③ゆとりを持たせ、クラッチを上
げて戻すか、ハンドルを1回巻いてクラッチ
を戻します。

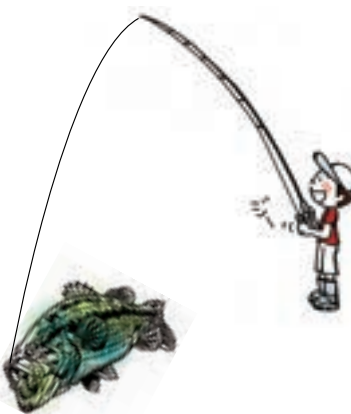


3 ラインの先端をルアー、またはスナップ付きヨリモドシに結んで完了

※どちらも下記クリンチノットで対応します。



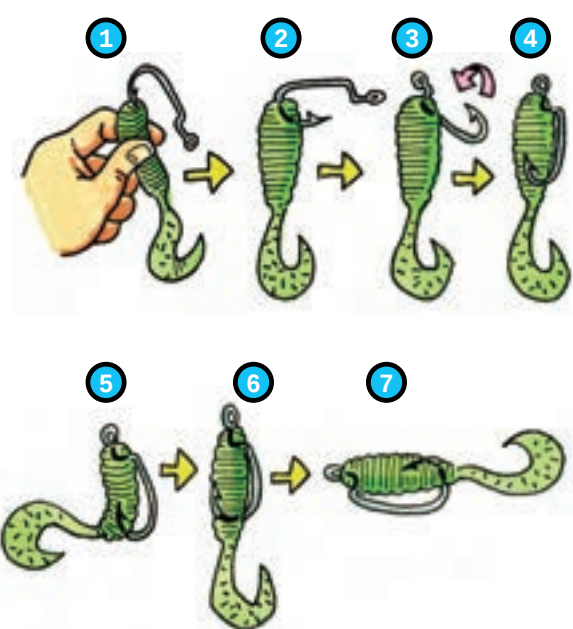
ドラグ調整も行おう



ハンドルの元にあるつまみを回して
庄を調整します。ファイト中、魚の引
きにハリスやリーダーが耐えきれず
負ける(切れる)寸前に、ラインが出
るようにセッするのが理想的です。
詳しくは、ゴールドマニュアルブック
133ページで確認しましょう!

ソフトルアーにオフセットフックをセッ

- ①ソフトルアー先端の中央部にハ
リ先を刺します。
- ② crankbait 状に曲がっている軸の
長さ分を刺し込んで、ハリ先を
抜きます。
- ③ 軸まで刺し込んだら180度反転
させます。
- ④ 予めソフトルアーとフックを重
ねて、ハリのふところ(曲がり)
がボディを横断するラインを
確認します。
- ⑤ ソフトルアーの伸縮性とふと
ころの長さを考慮して、イラスト
のようにソフトルアーのボディ
を曲げ、④のラインにハリが入
るように刺し込みましょう。
- ⑥ ボディを貫通させ、ソフトル
アーを真っ直ぐにします。
- ⑦ ハリ先を2mm程ボディに埋め、
根がかり防止対策をして完了と
なります。

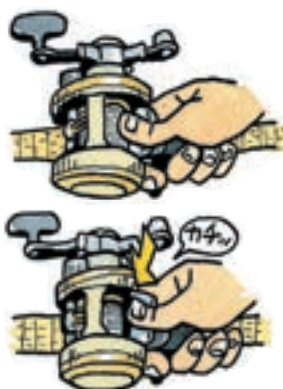


※裏面は、釣るためのテクニックを紹介!!

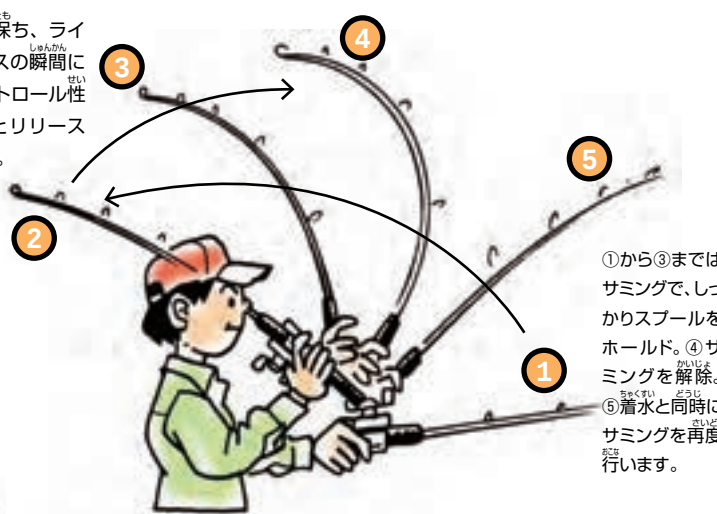
キャストイング

キャストに入る前は、ロッドをしっかりと握って
備えましょう。

- ① 中指から小指の手のひらでグリップを握ります。そして親指をスプールの道糸の上に軽く置きます。
- ② おやゆびで道糸を軽くおさえたまま、親指の付け根部分でクラッチを押して準備完了です。

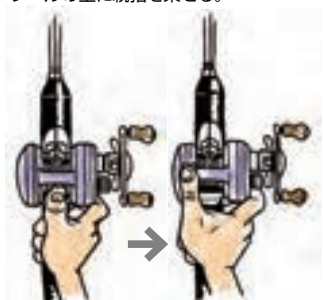


リリースするまでサミングの状態（右下参照）を保ち、ラインをしっかり止めておくことが重要です。リリースの瞬間にクラッチを切って投げると、軌道がブレて、コントロール性も失うので絶対に行わないように！ アドレスとリリースのタイミングはスピニングリールと変わりません。リールを内側に構えると、断然、投げやすくなるので覚えておきましょう。



ベイトリールのサミングは…

リールのクラッチを切った状態で、軽くスプールの上に親指を乗せる。



リリースするまではこの形。着水と同時に再度これに戻します。



※回収時のルアーの巻き込み過ぎに注意！



穂先を痛める一番の原因で、結果、破損。釣りが出来なくなります。ルアーが水面に見えたらリールを巻くのをやめて、距離を止めて、手元にくるように回収しましょう。

※むやみにロッドを地面に置かない！

自分はもちろん、他の人に踏まれて折れることがよくあります。ロッドを置く場合は、荷物に立て掛けるなど、地面に寝かせないように置きます!!

★釣り方のコツ：ブラックバス編

プラグ系ルアーは3つのアクションで誘う！

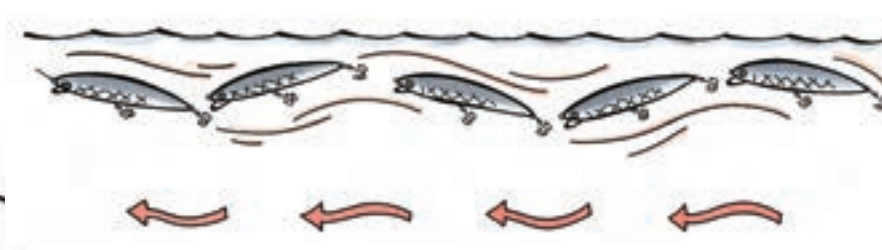
ステディ-リトリブ

リトリブ（ルアーを引く）の早さは、ミディアムスピード。反応がない場合は、スロー、またはファーストで引いてみましょう。



ルアー本来の動きで誘うアクション。一定のスピードでリールを巻くだけです。

ストップ&ゴー



魚に食わせのタイミングを与えるアクション。リールを巻いては止めるを繰り返し、止めた時に食わせませす。

トゥイッチング



ルアーがイレギュラーな動きをするアクション。リールを巻きながら、ロッドの穂先をチョンチョンとアオって誘いましょう。

★ポイントはココ

水草や杭、大岩、カケアガリなど、ストラクチャー（障害物）周りに身を潜め、ベイト（小魚や小さな虫や動物）が近づくのを待ち構えています。主な棲息地は湖沼だが、河川、野池にも分布しています。

ソフトルアーの基本は「ズル引き」！

ソフトルアーのリグ（仕掛け）には、シンカー（オモリ）を付けるいくつかのタイプとノーシンカーがあります。いずれも基本的には、ボトム（底）までルアーを落として、ズルズル引いては止めるを繰り返す「ズル引き」で誘います。

ただ場所によっては障害物などが多い場合もあります。そんな時のためにいくつかテクニックを紹介しましょう。



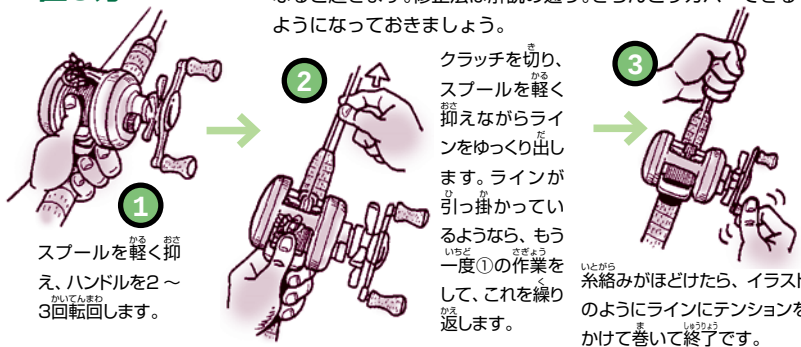
ボトムバンピング

ルアーが底でジャンプするアクションで、障害物も回避できる！ルアーが着底したら、ロッドの穂先を跳ね上げて、そのまま落とすだけ。通常は、跳ね上げた時にできるラインのフケ（たるみ）を巻き取って行きましょう。



バックラッシュの直し方

ベイトリールで良く起きるトラブルが、このバックラッシュです。キャスト時などスプールの回転がラインスピードより速くなると起きます。修正法は解説の通り。きちんとリカバーできるようにしておきましょう。



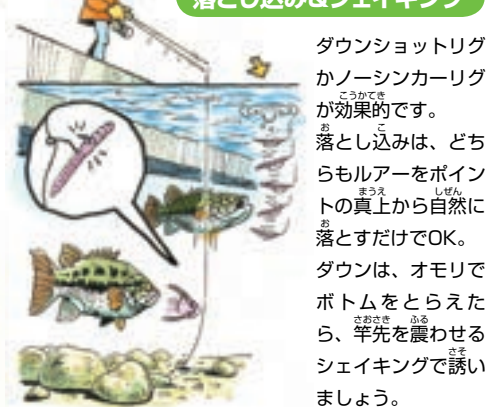
① スプールを軽く抑え、ハンドルを2～3回転回します。

② クラッチを切り、スプールを軽く抑えながらラインをゆっくり出します。ラインが引っ掛かっているようなら、もう一度①の作業をして、これを繰り返します。

③ リリース中はこの形になります。リリースするまではこの形。着水と同時に再度これに戻します。



落とし込み&シェイキング



ダウンショットリグがノーシンカーリグが効果的です。落とし込みは、どちらもルアーをポイントの真上から自然に落とすだけでOK。ダウンは、オモリでボトムをとらえたら、竿先を震わせるシェイキングで誘いましょう。

※かたづけ上手は、釣り上手！
返却日前日までに、しっかりお手入れを!!

レンタル釣具は、返却日まではお手入れをし、元通りに梱包しましょう。また釣具にキズを付いたり、壊してしまった場合は、その箇所をメモに残して箱の中に入れてみましょう。

ロッドをたたむ場合は…



パッド部の継ぎ目から順に外して行きます。ジョイント部がキック縮まっている場合は、継ぎ目の部分を持ち、雑巾を絞るようにネジリながら引くとうまく抜けず。くれぐれも先端を持って外さないこと。穂先が折れてしまうので要注意です！